

仙台市には

「せんだい外国人防災リーダー」

がいます！

(公財)仙台観光国際協会(SenTIA)では2020年度から、防災に関心のある外国人住民を対象に、災害や仙台市の防災の仕組みを学び地域防災に貢献する、せんだい外国人防災リーダーを育成しています。現在、**22名、15カ国出身のせんだい外国人防災リーダー**が活動しています。



なぜ外国人防災リーダーが必要なの？

言葉や文化、習慣が違う外国人にとって、日本は外国です。普段の生活では困らなくても、災害という非常時に、日本人と同じような行動が取れる外国人は多くありません。

せんだい外国人防災リーダーは、自らが災害や防災について学び、それを周りの外国人に伝えます。災害が発生した時には、地域の人々と一緒に活動し、地域の日本人と外国人をつなぐ役割を果たします。

外国人が災害・防災に関して抱える不安や疑問とは？

✕ 日本で起きる災害のことを知らない



✕ 非常食のことや避難所でのルールがわからない



✕ 日本語がわからないので情報が入手できない



✕ 知り合いが少なく孤立する人がいる



外国人防災リーダーの役割は？

災害がない時

情報を発信・共有します

仙台市で起こる災害のこと、防災の仕組みのことを知らない外国人に、情報を届けます。

地域の防災訓練に参加します

外国人防災リーダーは青色のビブスをつけています。防災訓練に参加していたら、一緒に運営を手伝ってくれるでしょう。ぜひ声をかけてみてください。



災害が起きた時

情報を発信します

SenTIAは、災害時に外国語で情報を発信します。外国人防災リーダーは、言葉がわからない外国人に情報を伝えます。

避難所では

避難所の運営や、外国人避難者への説明など、外国人防災リーダーにできることがあれば、声をかけてみてください。

2020年度はこんな活動をしました！

第1回研修 (2020年7月)

仙台市で起きた災害や仙台の外国人住民の状況、外国人が直面する課題について学びました。外国人防災リーダーの役割を考えるとともに、旧笹川など令和元年台風19号で浸水被害に遭った地域や、震災遺構(仙台市立荒浜小学校)を見学しました。



第2回研修 (2020年8月)

指定避難所を見学し、災害が起きた時の避難所運営について学びました。多文化防災ワークショップを行い、避難所運営で生じる問題の解決について町内会長など地域住民と話し合いました。



せんだい外国人防災リーダーになったみなさんに、 なぜ防災リーダーになったのか、 これからどんなことに取り組みたいかを聞きました。



中国出身

布川裕子さん

私は、来日8年目に東日本大震災を経験し、初めて災害の恐ろしさを体感しました。それまでは防災のことは何も考えたことがなかったのですが、防災のことや災害時の身の守り方を学びたいと思い研修に参加しました。

研修を通して自分が住んでいる地域のことに興味に向くようになったので、これからも地域の日本人と外国人と一緒に防災訓練などに取り組み、災害に負けない地域づくりができるように活動したいです。



ネパール出身

ドゥワディ
パワニさん

13年前に仙台に来ました。子供が小学校の時に東日本大震災を経験しました。すごく怖かったけど日本人の仲間や近所の人、ネパール人の友達のおかげで乗り越えることができました。

長い間日本に住んでいるので、自分が住んでいる地域のために少しでも役に立つことができればと思い外国人防災リーダーになりました。日本に初めて来た外国人に、災害や防災に関する情報を知ってもらいたいです。仙台に住んでいる市民として災害の時に皆さんと一緒に活動することができればと思っています。



ベトナム出身

ヴェティ
リン チさん

2011年に、私は母国で東日本大震災のニュースをテレビを見て、とても悲しくなりました。

2021年、私は日本にいます。自分の力は強くないですが、地域の人と協力したいと思い外国人防災リーダーになりました。

防災リーダーになって、事前に準備することがとても大切だと知りました。備蓄品を準備し、周りのベトナム人によく話しかけるようになりました。避難マニュアルのベトナム語版など、日本に住むベトナム人にも役立つものを作りたいです。



フィリピン出身

カルメ リータ ジョイさん

東日本大震災後に防災訓練に参加するようになりました。SenTIAが作成した多言語の防災ビデオやパンフレットの翻訳に協力したこともあります。

フィリピンも災害が多いので、色々学びたいと思い研修に参加しました。防災リーダーの研修を受けた後は、町内会長さんと話したり、研修で使ったパンフレットのコピーを渡しました。日本人のみなさん、外国人のことを怖がらないでほしいです。お互い明るい挨拶をして、災害が起きても助け合えるようになりますように。



イラン出身

サマネ ノアバディさん

しっかり準備をしていなければ、災害が起こった時に大きな被害になることがあるので、研修を通して学んだことを他の外国人にも教える必要があると思いました。

様々な自然災害が世界中にあるので、それぞれの地域の状況を理解することが重要だということもわかりました。外国人である私たちも含めて、国や宗教の違いに関わらず、日頃から防災訓練に参加し地域住民と協力できるようにする必要がありますと思います。

仙台市危機管理室減災推進課から 防災リーダーに期待すること

東日本大震災において、外国人が避難情報や災害情報などを理解できず不安に感じたり、避難所では言葉や文化の違いにより、苦慮したケースが見受けられました。このことを踏まえ本市では、外国人の防災・減災に関する知識や日頃からの備えについて周知啓発を行うとともに、防災訓練への積極的な参加を促してきました。

外国人防災リーダーには、外国人住民が災害時に不安な思いをしないよう、防災・減災について共に考え、そしてアドバイスができる存在になっていただくことを期待しています。

東六地区連合町内会 前橋町内会長 星さんからのメッセージ

防災リーダーのみなさんには、研修で指定避難所を見学してもらいました。

避難所は、自分たちで運営します。運営する人は、食べ物を配ったり、避難者の健康を確認したり、掃除やゴミの片付けなど、役割があります。避難者の希望や問題を聞き、解決方法も考えます。避難者のみなさんも協力をします。

外国人防災リーダーのみなさんも積極的に運営に参加してください。力を合わせて災害を乗り越えていきましょう。

岡山東総社市 外国人防災リーダー 譚俊偉さんからのメッセージ

災害時には、外国人が理解できる言語で、正確な情報をタイムリーに提供することがカギになります。日本にいる外国人が自分のSNSを使って発信することも大事です。しかし、情報を外国語に翻訳するだけでは足りないです。人と人とのつながりがとても重要だと思います。普段から地域に住んでいる外国人を知り、日常的にお互いの生活や文化を尊重することで、災害時にも助け合うことができます。

SenTIAの多文化防災

SenTIAでは、「多文化防災」(地域防災を通じた多文化共生の推進)に取り組んでいます。
言語や文化の違いにかかわらず、誰もが安全に、安心して暮らせる地域作りを目指しています。

仙台市災害多言語支援センター

仙台市は大きな災害が発生すると、災害多言語支援センターを設置します。災害多言語支援センターでは、外国人被災者に必要な情報を外国語でお知らせし、外国語での相談に対応します。(公財)仙台観光国際協会が運営します。

場所：仙台国際センター会議棟 1階「仙台多文化共生センター内」

電話：022-224-1919、022-265-2471

ホームページ：<http://int.sentia-sendai.jp/saigai/>



仙台市災害時言語ボランティア

地震や水害、台風などの大規模災害が起こった時に、日本語での情報を得にくい人たちを「言語」の面でサポートする市民ボランティアです。また、平時には、防災訓練・研修に参加し、翻訳通訳を通じて運営に協力します。災害時言語ボランティアは随時募集しています。災害時の外国人支援に興味のある方は、SenTIA国際化事業部(下記)までご連絡ください。



SenTIAでは外国人住民に向けて、 防災に役立つ他言語情報を提供しています。

『大きな災害が起きたら、 どこに逃げるか知っていますか?』

新たに仙台市民となる外国人に対し、災害時の多言語支援及び仙台市の指定避難所等について知っていただくためのチラシです。



『防災訓練のポイント』

防災訓練で学ぶポイントを、イラストを交えて説明しています。防災訓練に参加する外国人住民への説明資料として活用してください。



多言語防災ビデオ 『地震!その時どうする?』

地震について知識や経験のない外国人住民を主な対象として、地震に対する備えや、地震が発生した場合の対応について分かりやすく説明しています。YouTubeで視聴できます。



多言語防災パンフレット 『地震から身を守るための アドバイス』

地震について知識や経験のない外国人住民を主な対象として、地震に対する備えや、地震が発生した場合の対応について簡潔な説明とイラストで分かりやすく説明しています。



お問い合わせ先：公益財団法人仙台観光国際協会 (SenTIA) 国際化事業部

SenTIAは、外国人市民が仙台で安心・安全に暮らすために、生活支援、日本語学習支援、災害時支援など、様々な事業を行っています。詳しくはホームページをご覧ください。

TEL:022-268-6260 FAX:022-268-6252 Email:kokusaika@sentia-sendai.jp